

# 先週の回答



あたくし？ あたくしは茶の湯の師匠をしますの、はい。裏千家の家元でございます。

あたくしが妻子ある男性(大企業の課長補佐)と、わけ有りになったのには訳がありますの。ここでは省略させていただきますけれど、麻布十番のラブホテルの1室におりましたの、気がついたら、ことに及ぶ前にあたくしはつきり念を押しましたのよ。

「本当に奥さんと別れてくれるのね」

「もちろん」

「いつ別れてくれますの？」

「すぐに。速達で別れるよ」

「まちがいなく速達で別れてくれるのね」

「まちがいなく速達でわかれるよ」

で、ことに及びましたの、あたくし。二度目の逢瀬は下北沢のラブホテルでした。

「いつ奥さんと別れてくれますの？」

「こうなったら、一蓮托生だよ」

「一蓮托生といえますと？」

「仏教の言葉で、死後にあの世で同じ蓮華の花の上に生まれ変わるといふ意味から、結果はどうなるうとも運命をとにもすることだよ」

「奥さまと別れて、あたくしと運命をとにもしてくださる？」

「そのとおり」

で、二度目のことに及びましたの、あたくし。

「いつ別れてくれるの？」ときくと、

「そのうちに」になりましたの。速達で別れると言ったのが、そのうちになって一年も経ちますのよ。

で、あたくしのお茶室にお誘いしましたの。

「そのうち、そのうちって、あなた最初っから奥さんと別れる気なかつたんじゃないの、あたくしの体をもてあそんだだけで」

「ははは、たとえこの世で夫婦(いっしょ)になれなくても、あの世で夫婦になるーね」ですって。

ですから、あたくし、

「だったら先にいって。あたしも、そのうちいくから」と言つてやりましたの。あの人、あたくしの点(た)てたお茶を途中で飲んで、ポロリと茶碗を落として倒れましたの。入れた毒がすぐ効いて。



# 今週の問題



□の中に漢字を埋めて  
四字熟語を完成させてください。